

ふれあい通信

SADA
No.6



長南町長
平野 貞夫

農業振興と農地保全に向けて

町内に8つ目となる棚毛営農組合が、9月21日の設立総会を経て誕生しました。棚毛地区に営農組合が設立されたことを心から歓迎するとともに、集落の農地は集落で守ることを合言葉に農業経営に取り組むという本組合に、大きな期待を寄せているところであります。

本町の基幹産業である農業を取り巻く環境は大変厳しく、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱えています。特に、稲作において、今年は異常な米価下落となり、

衝撃が広がっております。

農業経営は、国策によるところが非常に大きいわけですが、国は、農地を活用するための農地中間管理機構を設立し、農地の集積・集約化を図り、経営の安定を進めるとともに、農村の環境を維持して強い農業を目指すとしています。町としても、国の制度を活用しながら、農業者が生産性の向上と作業の効率化により安定した経営ができるよう取り組んでいるところであります。

今後も農産物のブランド化と営農組織の育成に努め、緑豊かな本町の農地を次世代に引き継げるよう努力していきたいと思っております。